

地球最後の日（1951）

WHEN WORLDS COLLIDE
DER JUNGSTE TAG [独]

メディア 映画
ジャンル S F パニック
製作国 アメリカ
色彩 Color
時間 81分
初公開日 1952/04/24
公開情報 P A R

【解説】
遊星衝突による地球壊滅の危機を描いたS F映画で、製作はパペートンで有名なG・パル（「親指トム」参照）。ヨーロッパの名撮影監督から娯楽派監督に転身したR・マテが演出を担当している。科学者グループは地球を放棄し、ロケットで別の惑星へ移住する事を決定。その建造が急ピッチで進められる。やがて、接近する遊星の影響から世界各地で地震や津波などの天変地異が続発、遂に地球脱出のタイム・リミットがやって来た……。世界崩壊のスペクタクルよりも、新たなる“ノアの方舟”となるロケットにまつわる描写が大半を占め、地球規模の話の割にミクロな人間模様が気にならないでもないが、空想科学映画としての見せ場と迫力は十分に備えている。ようやく辿り着いた新天地の描写（天体画家チェスリー・ボーンステルの手になる）が意外と呆気なく、嘘臭い印象を受けてしまうのが難。深読みする事は可能だけれど……。パルはこの後も「宇宙戦争」（53）、「宇宙征服」（55）といった真面目なS F映画を製作している。

【クレジット】			
監督	ルドルフ・マテ	Rudolph Mate	
製作	ジョージ・パル	George Pal	
原作	エドウィン・バルマー	Edwin Balmer	
	フィリップ・ワイリー	Philip Wylie	
脚本	シドニー・ボーム	Sydney Boehm	
撮影	ジョン・サイツ	John F. Seitz	
	W・ハワード・グリーン	W. Howard Greene	
特殊効果	ゴードン・ジェニングス	Gordon Jennings	
美術	アルバート・ノザキ	Albert Nozaki	
	ハル・ペレイラ	Hal Pereira	
衣装デザイン	イーディス・ヘッド	Edith Head	
編集	アーサー・P・シュミット	Arthur P. Schmidt	
音楽	リース・スティーヴンス	Leith Stevens	
出演	リチャード・デア	Richard Derr	デヴィッド・ランダル
	バーバラ・ラッシュ	Barbara Rush	ジョイス・ヘンドロン
	ラリー・キーティング	Larry Keating	コール・ヘンドロン博士
	ピーター・ハンソン	Peter Hanson	トニー・ドレイク博士
	ジョン・ホイト	John Hoyt	シドニー・スタントン
	メアリー・マーフィ	Mary Murphy	

フランク・キャディ	Frank Cady
スティーヴン・チェイス	Stephen Chase
ヘイドン・ローク	Hayden Rorke